

# わびすけ

(撮影：村野敦子)



村野藤吾先生をしのぶ会・会報  
第2号 2005年7月31日

発行責任者 熊井直人  
(村野藤吾先生をしのぶ会・広報部会長)

編集責任者 伊藤真人  
事務局 CORE 建築・都市設計事務所

P 151 0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2 37 7  
サンビューハイツ神宮  
© 03 3470 1607 / Fax.03 3479 6176

## 「しのぶ会」の急務

武蔵野美術大学教授 長谷川 堯

一九七九年、村野藤吾晩年の秀作「松寿荘」が完成したとき、ある建築雑誌で、建築家の植文彦さんと一緒に村野先生にインタビューし、その設計上の意図を伺う機会が与えられた。そのとき先生は、今の若い建築家たちに、こんな建築の造り方、こういうディテールや仕上げもあるんだ、ということをして、この建築で目に見える形で示して後に遺しておきたかったのだ、と話された。かつて建築家たちが使っていたいろんな手法を、今の建築家でもやろうとする意志さえあれば実現できるんだ、と言われたのを今も鮮明に覚えている。

その松寿荘が、竣工後わずか二十余年で、建物を所有する企業によって最近ほとんど予告もなく取り壊された。このとき、建物と同時に、巨匠村野が心を込めて遺した、かけがえのないこつとした建築的な遺言もまた地上から抹殺されてしまったことに経営者たちは気付いているのだろうか。さらにこれに追い討ちをかけるように、松寿荘前の道

路の反対側に位置し、美しい街路空間を形成していた「指月亭」も取り壊されてしまった、と最近になって私は聞いた。指月亭こそは、知る人ぞ知る、村野藤吾の和風住宅中の白眉というべき建築で、一九五九年、松寿荘と同じく、出光佐三氏のために設計した作品であった。

こうした最近の一連の出来事は、「しのぶ会」の私たちが早急に取りかからねばならない活動の基本的な方向を計らずも教えている。一つは、村野作品がまさにそつであるよつな、芸術的、文化的な遺産を目指して造られた建築を、更地にして土地を売りやすくする、といった姑息な経済的な算段によって破壊するよつな非常識からの覚醒を、建築の所有者、管理者たちに積極的に訴えていくことである。そしてもう一つは、村野藤吾が、建築界の後輩たちに伝えよつとしていた、彼の思想や、美学、手法、技術などを改めて検証し、それらを建築に携わる人たちに、多様な手段を通して、正確に伝えていくことではなかるうか。

### 顧問&コアスタッフ 懇談会



さる四月二十七日(水)、「村野藤吾先生をしのぶ会」の顧問とコア・スタッフによる懇談会が、大隈会館・完之荘にて行われた。当日は、菊竹清訓会長、岡田新一顧問をはじめ十八名が出席。会の名称、組織および事業の確認、会報の誌名、キャンペーン・ポスターの制作などについて討議された。



キャンペーン・ポスター(デザイン=御江健二郎 制作協力=株式会社うかい / 鶴飼貞男社長) 大学や企業に配布します。

「村野藤吾先生をしのぶ会」ホームページ : [www.togomurano.com](http://www.togomurano.com)

# 「村野藤吾先生をしのぶ会」の旅～信越の美術館巡り

「村野藤吾先生をしのぶ会」では、活動の一環として、日本・世界を旅して村野建築を見、旅を通して村野先生の思考を学び、体験したいと思います。その第1回として信越の美術館と、その環境を巡りたいと思います。

(村野建築見学ツアー事業部長：榎沢成明)

旅行期間 2005年9月9日(金)～10日(土)

旅行代金 26,000円(2名1室利用)

[シングル追加代金：8,000円]

最小催行人員 30名 / 募集定員 45名

申込締切日 8月5日(金) / 食事 朝1回・昼2回

利用ホテル(予定) 松本東急イン

添乗説明 榎沢成明 / 協力 宮本忠長建築設計事務所

\*添乗員は同行しません。

問合せ・申込み 株式会社日本旅行・東京中央支店

電話：03 5565 5553 / Fax：03 5565 6181

(営業時間：平日9：30～17：30 / 土・日曜&祝日休業)

担当：「村野藤吾先生建築デスク」柴崎・濱田

9月9日(金)		9月10日(土)	
8:45	長野駅集合		朝食(ホテルにて)
9:00	長野駅出発	8:50	ホテル出発
9:45	小布施町散策	9:10	松本市美術館
9:45		10:40	
12:15	「谷村美術館」	11:30	「八ヶ岳美術館」
13:15		13:00	
	*昼食は車内で弁当		*昼食は車内で弁当
15:15	ちひろ美術館 (車窓または外観見学)	15:00	「小山敬三美術館」
15:30		16:30	
16:00	碌山美術館	17:15	軽井沢駅着
15:30			*軽井沢駅にて 自由解散
17:30	松本市内着		

## 第1回シンポジウム

## 私にとっての村野藤吾

日時 2005年11月26日(土)

会場 目黒区役所・大ホール

共催 目黒区美術館

建築家・村野藤吾研究会

\*目黒区および目黒美術館の要望により、シンポジウムに関しては「建築家・村野藤吾研究会」で開催します。

【内容】

総合司会 大友洋佑

挨拶 菊竹清訓(村野藤吾先生をしのぶ会会長)

基調講演 長谷川堯

パネルディスカッション：私にとっての村野藤吾

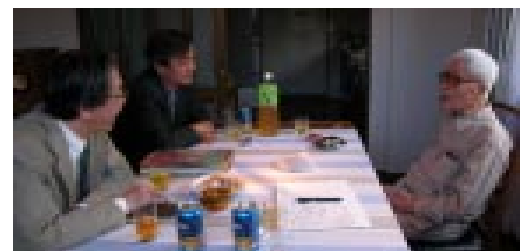
パネラー 菊竹清訓 / 香山壽夫 / 高橋志保彦 / 栗生明

\*茶室の見学およびロビーにてパネル展示もあります。

出版事業部会の「村野伝説を支える」村野藤吾の建築を支えた人々(仮称)のスタッフによる取材が、ついに始まった。最初に訪ねたのは、村野・森建築事務所/大阪事務所の元所員、斉藤格司さん。さる六月五日(日)、兵庫県のご自宅に、栗生明、波多野文夫、伊藤真人の三人が伺った。在籍三十年の斉藤さんの事務所の様子、そして村野先生の姿を伝えるお話は、余りに面白く、また新鮮で東京に帰る時間を忘れるくらいであった。内容については「書籍」に委ねるとして、斉藤さんの建築に対する想いの若々しさには敬服するばかりであった。

これから、楽しい取材になりそうである。

## 取材、始まる 出版事業部会



## 日誌より

コアスタッフ会議 H17年7月19日、赤プリ・ナポレオン

【展覧会部会】

NAIS見学会 H17年4月28日 / NAIS第一回協議

H17年5月27日 / NAIS

「清家清展」視察 H17年7月22日

【シンポジウム部会】

幹事会 H17年4月27日、清水建設 / 幹事会 H17年5月25日、清水建設 / 目黒区第二回協議 H17年6月7日 / 幹事会 H17年6月24日、清水建設 / 幹事会 H17年7月29日、清水建設

【出版部会】

部会 H17年6月27日、建築都市編集研究所

【広報部会】

部会 H17年5月27日、アルコ / 部会 H17年7月22日、CORE建築・都市設計事務所

\*九月から、募金活動

法人五万円一口、個人二万円一口を開始します。